



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 5 年 10 ～ 12 月 見 通 し

Forecast for Oct. - Dec. 2023



令和 5 年 11 月

November 2023

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics

Economic and Social Research Institute

Cabinet Office, Government of Japan

(調 査 の 概 要)

機械受注見通し調査は、機械製造業者の受注する設備用機械について、四半期ごとに翌期の受注見通し等を調査したものである。調査対象は「機械受注実績調査」の対象となっている主要な機械製造業者、また調査時点は毎四半期末であり、今回調査の見通し時点はおおむね2023（令和5）年9月下旬と推定される。

1987（昭和62）年7～9月見通し調査より、調査対象社数を178社から280社に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月より、機種分類の「電子・通信機械」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

(使 用 上 の 注 意)

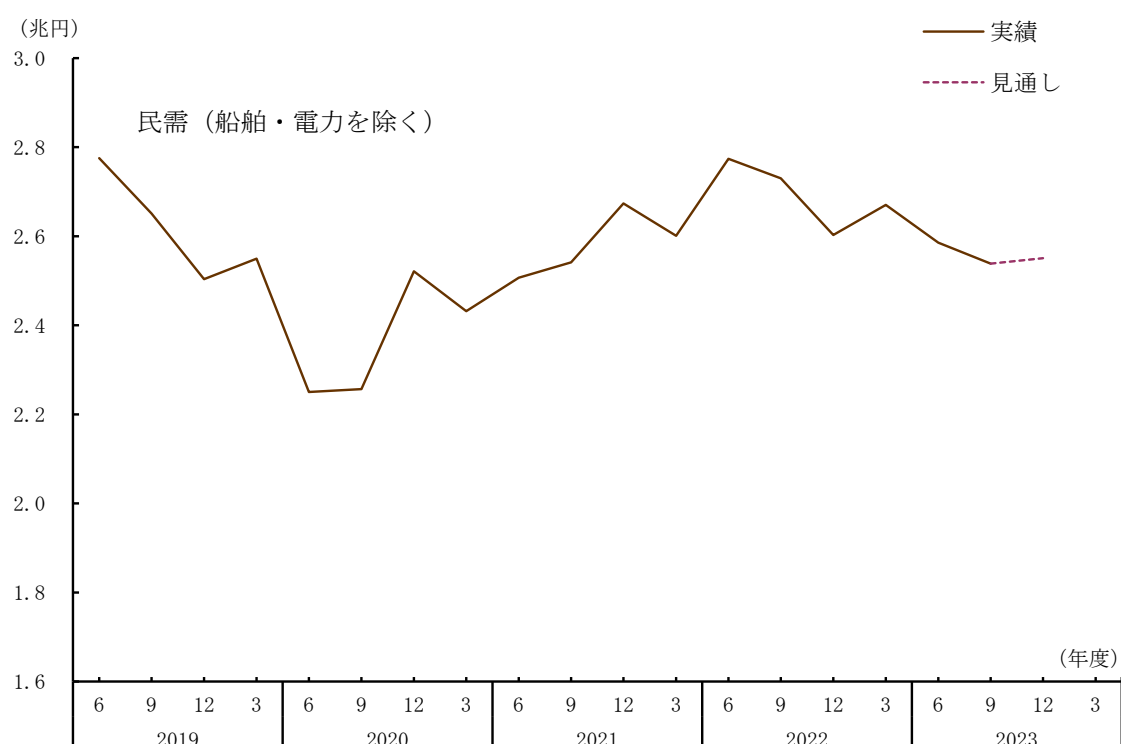
- 1．1989（平成元）年4～6月実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 2．本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。

2023（令和5）年10～12月の機械受注見通し

1. 集計結果の概要

- (1) 2023年10～12月の機械受注見通し額について、調査対象企業の見通しを集計したところ、受注総額で7兆5,759億円、前年同期の実績に対し2.7%の減少、「船舶・電力を除く民需」で2兆5,743億円、同4.1%の増加という結果になった。
- (2) これに最近における「達成率」を乗じると、受注総額で前年同期に対し2.2%減、「船舶・電力を除く民需」で同1.6%減の見通しとなった。
- (3) 季節調整値により、前期（7～9月）の実績に対する比率を見ると、受注総額で4.7%減、「船舶・電力を除く民需」で0.5%増の見通しとなった。

第1図 受注額の実績と見通し（季節調整系列）



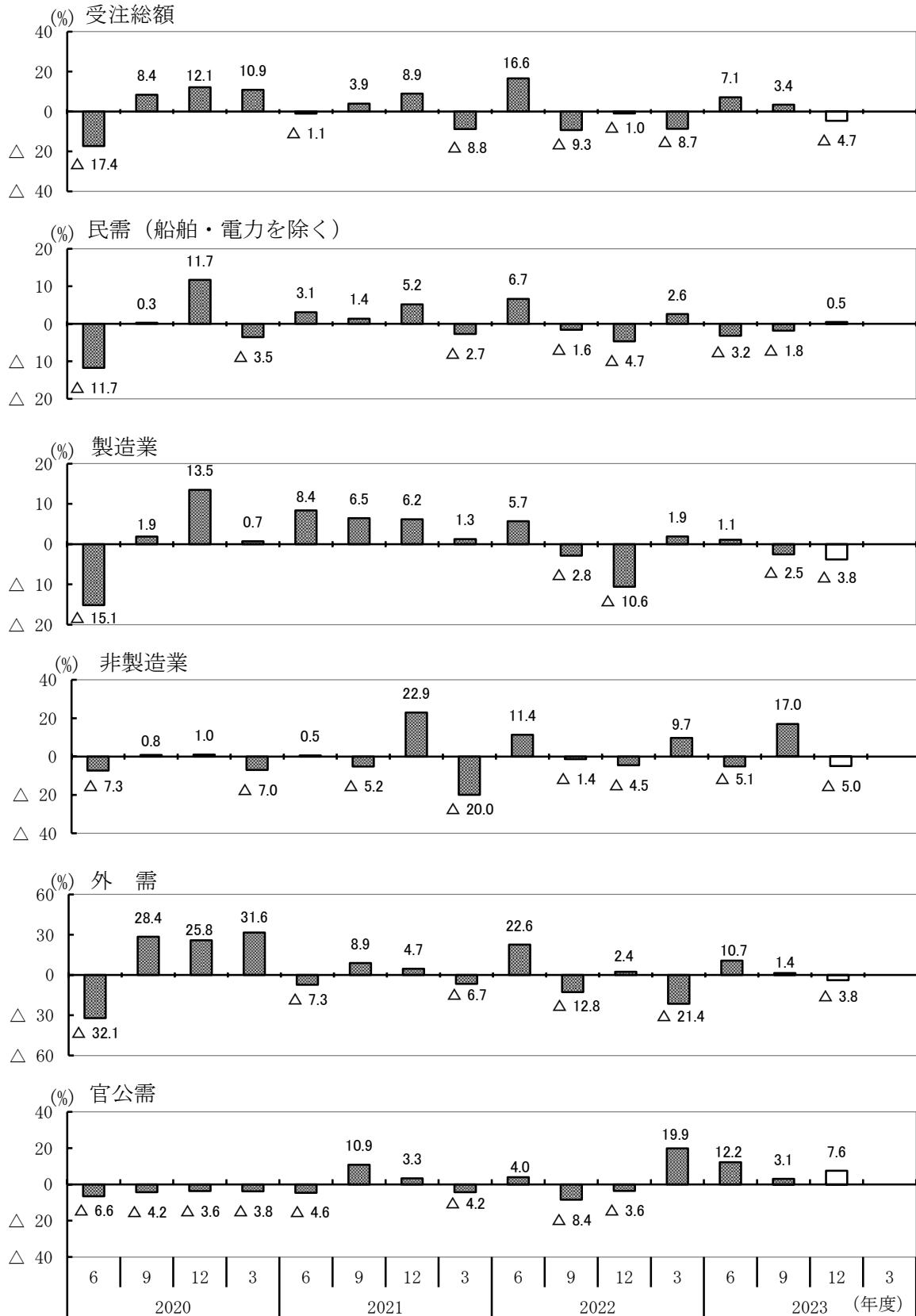
第1表 需要者別見通し額（季節調整系列）

（単位：100万円，％）

需要者		期			
		2023年 (令和5年) 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 見通し
実 数	受注総額	7,471,633	8,001,105	8,270,062	7,883,736
	民需	3,092,994	3,023,698	3,279,154	3,124,488
	（船舶を除く）	（ 3,040,295）	（ 3,007,833）	（ 3,225,510）	（ 3,091,873）
	（船舶・電力を除く）	（ 2,670,520）	（ 2,585,516）	（ 2,538,460）	（ 2,550,611）
	製造業	1,249,238	1,262,689	1,230,634	1,183,638
	非製造業	1,840,928	1,746,520	2,043,679	1,942,391
	（船舶・電力を除く）	（ 1,440,126）	（ 1,313,417）	（ 1,303,424）	（ 1,365,579）
	官公需	902,646	1,013,177	1,044,500	1,123,585
	外需	3,225,233	3,570,220	3,620,406	3,482,314
代理店	358,417	360,636	342,880	347,899	
前 期 比	受注総額	△ 8.7	7.1	3.4	△ 4.7
	民需	7.1	△ 2.2	8.4	△ 4.7
	（船舶を除く）	（ 6.2）	（ △ 1.1）	（ 7.2）	（ △ 4.1）
	（船舶・電力を除く）	（ 2.6）	（ △ 3.2）	（ △ 1.8）	（ 0.5）
	製造業	1.9	1.1	△ 2.5	△ 3.8
	非製造業	9.7	△ 5.1	17.0	△ 5.0
	（船舶・電力を除く）	（ 3.2）	（ △ 8.8）	（ △ 0.8）	（ 4.8）
	官公需	19.9	12.2	3.1	7.6
	外需	△ 21.4	10.7	1.4	△ 3.8
代理店	0.1	0.6	△ 4.9	1.5	

- （注）1．見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。
 2．個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値と一致しない。

第2図 需要者別機械受注の動向（季節調整系列、前期比）



(備考) 2023年7～9月期以前は実績値。

2. 需要者別見通しについて

(1) 需要者別見通し額（季節調整済系列）

10～12月の機械受注見通し額（季節調整値）を前期比で見ると、受注総額は7～9月3.4%増の後、10～12月には、4.7%減の見通しとなった（第1表）。

これを需要者別にみると、民需は7～9月8.4%増の後、10～12月には製造業（3.8%減）、非製造業（5.0%減）がともに減少するとみられることから、合計では4.7%減となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は7～9月1.8%減の後、10～12月には0.5%増となる見通しになっている。

機械受注の見通し額（季節調整済系列）は、単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整済）を乗じ、単純集計値の季節指数で除して求めている（「達成率」については後述）。

参考表 需要者別見通し額(季節調整値)の算出

	単純集計値	3期平均 達成率	原数値	季節指数	季節調整値
受注総額	7,575,867	100.5	7,617,471	96.6	7,883,736
民需	2,936,127	101.6	2,982,667	95.5	3,124,488
(船舶を除く)	2,917,541	101.0	2,947,811	95.3	3,091,873
(船舶・電力を除く)	2,574,318	94.6	2,434,172	95.4	2,550,611
製造業	1,238,209	93.2	1,153,572	97.5	1,183,638
非製造業	1,697,918	107.7	1,829,032	94.2	1,942,391
(船舶・電力を除く)	1,342,386	95.8	1,285,389	94.1	1,365,579
官公需	859,317	114.8	986,071	87.8	1,123,585
外需	3,418,115	98.0	3,351,457	96.2	3,482,314
代理店	362,308	99.9	362,059	104.1	347,899

(2) 需要者別見通し額（原系列）

10～12月の機械受注見通し額について、単純集計値をみると、受注総額は7兆5,759億円であり、前年同期の実績に比べ、2.7%減となった（第2表）。

平均達成率調整後の見通し（原系列）をみると、受注総額では、10～12月には前年同期比2.2%減となる見通しになっている。需要者別にみると、民需は、製造業（1.5%減）が減少するものの、非製造業（15.3%増）が増加するとみられることから、8.1%増となる見通しになっている。このうち、「船舶・電力を除く民需」は1.6%減となる見通しになっている。

第2表 需要者別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

需要者		期	2023年			(参考) 単純集計値
			(令和5年) 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 見通し	
実 数	受注総額		7,491,836	8,018,022	7,617,471	7,575,867
	民需		2,837,377	3,178,755	2,982,667	2,936,127
	(船舶を除く)	(2,826,161)	(3,160,711)	(2,947,811)	(2,917,541)
	(船舶・電力を除く)	(2,506,346)	(2,532,534)	(2,434,172)	(2,574,318)
	製造業		1,242,954	1,229,076	1,153,572	1,238,209
	非製造業		1,594,423	1,949,679	1,829,032	1,697,918
	(船舶・電力を除く)	(1,268,523)	(1,308,966)	(1,285,389)	(1,342,386)
官公需		915,502	972,280	986,071	859,317	
外需		3,393,926	3,522,225	3,351,457	3,418,115	
代理店		345,031	344,762	362,059	362,308	
前 年 同 期 比	受注総額		△ 11.8	0.1	△ 2.2	△ 2.7
	民需		△ 5.8	3.5	8.1	6.5
	(船舶を除く)	(△ 5.1)	(4.2)	(7.3)	(6.2)
	(船舶・電力を除く)	(△ 6.7)	(△ 7.2)	(△ 1.6)	(4.1)
	製造業		△ 10.5	△ 10.8	△ 1.5	5.7
	非製造業		△ 1.7	15.2	15.3	7.0
	(船舶・電力を除く)	(△ 2.7)	(△ 3.5)	(△ 1.6)	(2.8)
官公需		16.4	37.7	53.8	34.0	
外需		△ 22.0	△ 9.2	△ 16.6	△ 15.0	
代理店		△ 1.7	△ 3.3	△ 2.0	△ 1.9	

(注) 見通しの計数は、各部門ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率（季節調整値）を乗じて算出している。従って、各部門の合計値は受注額合計値と一致しない。

(3) 需要者別達成率の動向

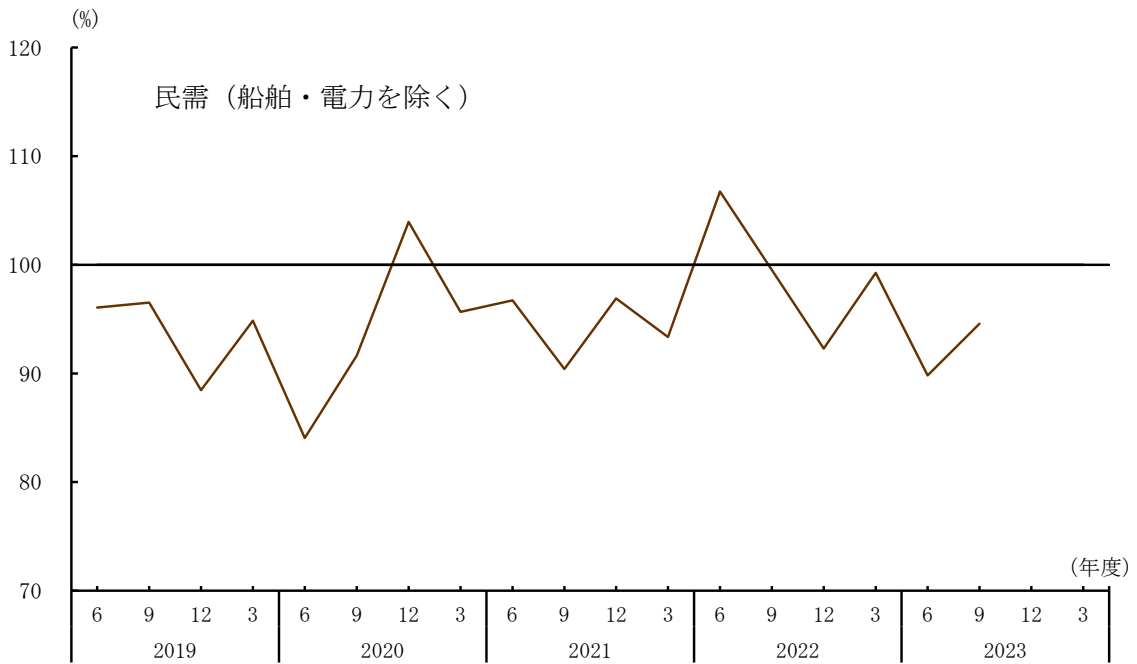
機械受注額の「見通し(単純集計値)」に対する「実績」の乖離を調整するために、両者の比を「達成率」として計算し、直近の3期平均達成率を見通しの「単純集計値」に乗じている。

最近における達成率(季節調整済)の動向は、第3図及び第3表のとおりである。

7～9月の機械受注見通し達成率をみると、受注総額では105.3%と100%を上回り、4～6月の達成率と比べ4.4ポイント上昇した(第3表)。

民需(106.7%)は同12.6ポイント上昇、「船舶・電力を除く民需」(94.6%)は同4.8ポイント上昇した。製造業(91.7%)は同4.1ポイント低下、「非製造業(船舶・電力を除く)」(96.6%)は同12.7ポイント上昇した。

第3図 達成率（季節調整系列）



（備考）達成率(季節調整値)は、(実績(季節調整値)/見通し(単純集計値、季節調整値))で算出している。

第3表 需要者別達成率（季節調整系列）

(単位：%)

需要者 \ 期	2022年 (令和4年) 10~12月	2023年 (令和5年) 1~3月	4~6月	7~9月	3期平均
受注総額	100.6	95.5	100.9	105.3	100.5
民需	90.7	104.0	94.1	106.7	101.6
（船舶を除く）	(90.1)	(103.3)	(94.7)	(105.1)	(101.0)
（船舶・電力を除く）	(92.3)	(99.3)	(89.8)	(94.6)	(94.6)
製造業	88.2	92.0	95.8	91.7	93.2
非製造業	93.7	112.9	92.5	117.8	107.7
（船舶・電力を除く）	(97.5)	(106.7)	(83.9)	(96.6)	(95.8)
官公需	86.6	107.0	104.9	132.4	114.8
外需	107.2	91.9	103.2	99.1	98.0
代理店	100.5	99.6	105.1	95.0	99.9

3期平均は2023年1～3月から7～9月までの3期の単純平均。

3. 機種別見通しについて

(1) 機種別見通し額

10～12月の受注見通し（原系列）を機種別に前年同期比で見ると、航空機（108.5%増）及び原動機（72.0%増）で増加する見通しになっている。

反面、鉄道車両（61.1%減）、重電機（20.7%減）、船舶（15.6%減）、工作機械（12.1%減）、産業機械（11.4%減）、道路車両（3.2%減）及び電子・通信機械（1.2%減）で減少する見通しになっている（第4表）。

第4表 機種別見通し額（原系列）

（単位：100万円，%）

機 種		期	2023年	7～9月	10～12月	(参考)
			(令和5年)			
			4～6月			
			実績			
実 数	原 動 機		621,250	885,828	914,189	631,873
	重 電 機		502,811	502,390	442,711	446,947
	電子・通信機械		2,543,917	2,610,557	2,490,003	2,583,138
	産 業 機 械		2,361,373	2,490,740	2,266,017	2,432,248
	工 作 機 械		281,832	278,118	261,450	270,338
	鉄 道 車 両		183,546	86,943	90,475	103,305
	道 路 車 両		424,315	380,043	456,650	450,278
	航 空 機		308,154	437,974	572,965	370,610
	船 舶		264,638	345,429	289,269	287,130
	合 計		7,491,836	8,018,022	7,637,165	7,575,867
前 年 同 期 比	原 動 機		29.8	40.3	72.0	18.9
	重 電 機		△ 13.9	△ 9.2	△ 20.7	△ 19.9
	電子・通信機械		△ 18.5	△ 5.6	△ 1.2	2.5
	産 業 機 械		△ 11.2	△ 4.3	△ 11.4	△ 5.0
	工 作 機 械		△ 18.1	△ 13.8	△ 12.1	△ 9.1
	鉄 道 車 両		78.7	△ 52.2	△ 61.1	△ 55.6
	道 路 車 両		△ 0.3	△ 18.3	△ 3.2	△ 4.6
	航 空 機		71.0	90.6	108.5	34.9
	船 舶		△ 55.9	34.1	△ 15.6	△ 16.2
	合 計		△ 11.8	0.1	△ 1.9	△ 2.7

(注) 見通しの計数は、各機種ごとの単純集計値に過去3期の平均達成率を乗じて算出している。従って、各機種の合計値は受注額合計値と一致しない。

(2) 機種別達成率の動向

7～9月の機種別達成率をみると、道路車両（111.0％）が前期と比べ15.1ポイント、原動機（157.1％）が同9.7ポイント、船舶（107.7％）が同9.1ポイント、電子・通信機械（99.1％）が同3.3ポイント、産業機械（92.8％）が同1.3ポイント上昇した。

反面、鉄道車両（70.0％）が同40.2ポイント、航空機（168.1％）が同12.8ポイント、重電機（100.4％）が同1.7ポイント、工作機械（96.0％）が同0.4ポイント低下した（第5表）。

第5表 機種別達成率

(単位：％)

	2022年 (令和4年) 7～9月	10～12月	2023年 (令和5年) 1～3月	4～6月	7～9月
原 動 機	111.4	100.5	129.5	147.4	157.1
重 電 機	90.3	91.8	94.7	102.1	100.4
電子・通信機械	101.0	96.5	94.3	95.8	99.1
産 業 機 械	108.0	99.0	95.2	91.5	92.8
工 作 機 械	105.1	95.5	97.8	96.4	96.0
鉄 道 車 両	132.0	180.7	82.5	110.2	70.0
道 路 車 両	98.1	94.7	97.4	95.9	111.0
航 空 機	137.7	103.9	114.8	180.9	168.1
船 舶	66.3	106.6	95.9	98.6	107.7
合 計	102.7	99.1	98.6	100.0	103.8

(注) 達成率は（実績（原数値）／見通し（単純集計値））で算出している。

第6表 機械受注見通し調査（2023年9月調査）
2023年10～12月受注見通し額集計結果表

（単位：100万円）

需要者別 \ 機種別	原 動 機	重 電 機	電子・通信機械	産 業 機 械	工 作 機 械	
受 注 総 額	631,873	446,947	2,583,138	2,432,248	270,338	受 計
民 需	323,998	218,083	1,092,501	1,003,249	107,851	民 計
製 造 業	96,834	69,003	314,902	615,137	105,720	製 計
非 製 造 業	227,164	149,080	777,599	388,112	2,131	非 計
内 電 力 業	203,334	79,869	47,259	12,761	0	電 力
官 公 需	17,365	77,777	340,193	125,405	233	官 計
外 需	285,005	76,430	1,126,798	1,187,013	157,619	海 外
代 理 店	5,505	74,657	23,646	116,581	4,635	代 理 店

需要者別 \ 機種別	鉄 道 車 両	道 路 車 両	航 空 機	船 舶	合 計	
受 注 総 額	103,305	450,278	370,610	287,130	7,575,867	受 計
民 需	81,615	61,980	28,264	18,586	2,936,127	民 計
製 造 業	8,301	676	21,359	6,277	1,238,209	製 計
非 製 造 業	73,314	61,304	6,905	12,309	1,697,918	非 計
内 電 力 業	0	0	0	0	343,223	電 力
官 公 需	5,745	2,401	198,776	91,422	859,317	官 計
外 需	15,919	248,639	143,570	177,122	3,418,115	海 外
代 理 店	26	137,258	0	0	362,308	代 理 店